

水都大阪 “名水”めぐり

高木 昌之

【目的】

大阪は、古来「水の都」と称されてきたが、近代化の中、いつしか「水」に背を向ける都市となっていた。近年に至り、ようやく「水都大阪」事業として、川や堀などの水辺の賑わい創出を推進し、その魅力を生かしたイベントや街づくりが行われるようになった。今回の研究では、まだ取り残されたままの「水」、すなわち井戸や池に光を当て、これらを新たな観光資源として活用するきっかけを作る。

【内容】

「水都大阪 “名水”めぐり」と言っても、現存する井戸や池を紹介し、ただそれを巡るだけでは、多くの人の興味を引くのは難しい。

そこで、いわゆる“古地図ブーム”の力を借りて、観光面ではあまり目立たない井戸や池に人を導くことを考えた。具体的には、現在も存在する「水」、古地図にのみ存在する「水」、古地図にもないがその時代には存在していた「水」を、観光客に現代の地図と古地図を使って探してもらうのである。

これを実現するには、誰にでも簡単に手に入れられる古地図の存在が前提となる。そこで、目を付けたのが、バーチャル地球儀ソフト「Google Earth(グーグルアース)」で見られる1806年(文化3年)の『ぞうしゅうかいせいせつしゅうおおさかちず増 脩 改正 攝 州 大阪 地図』である。パソコンでいつでも見られ、しかも現代の地図と重ね合わすことまででき(縮尺が異なるためずれは生じる)、今回の趣意にぴったり適合する。高齢化社会を迎えている今、拡大に耐え得るだけの画質を備えているのも評価できる。

この地図を活用するには、当時の井戸や池の状況を知らなければならない。最も近い時期の地誌として、1801年(享和元年)の『かいせいぞう ほなにわまるこうもく改正 増 補 難 波 丸 綱 目』があり、その「井水池」の項目から『増脩改正攝州大阪地図』の範囲内のものだけを抽出して現状調査を行い、その上で、これらを巡ることを提案する。

【結果】

『改正増補難波丸綱目』と『増脩改正攝州大阪地図』を使って27箇所の「水」を選び出したものの、歴史の移ろいは激しく、今なお当時の面影を残すものは少ない。井戸や池がこれまで観光資源となり得なかったのもやむを得ないところである。

しかし、時代は変わり、古地図を見ることは特別ではなくなった。しかも『Pokémon GO(ポケモンゴロ)』が大ブームになるなど、探すことが楽しみのひとつとさえなっている。そんな今だからこそ、「想像の翼」を広げる小道具、古地図を片手に“名水”を巡り、水都大阪の新たな魅力を感じていただきたい。

1. はじめに

前年まで天神信仰関連の研究をしてきたが、実は、大阪天満宮にある「天満天神の水」の解説がずっと気になっていた。そこには、大阪は水都でありながら良水には恵まれず、「天満天神の水」をはじめとした「大坂四カ所の清水」と呼ばれる名水が珍重されていたことが記されている。大阪の「水」は、「水都大阪」事業で既に活用されている川や堀だけではなかったのである。そこで、井戸や池なども同じ「水」として観光資源とならないか、と考えたのが、今回の研究のきっかけであった。

2. 「Google Earth」を使った『増脩改正攝州大阪地図』の活用

では、どうすれば華やかさに欠ける井戸や池に関心を持ってもらえるのか。そこで考え付いたのが古地図の活用である。幸いにも、NHKのバラエティ番組「ブラタモリ」のヒットなどで古地図ブームが到来し、現存しないものを想像することがウォーキングの楽しみのひとつとなっている。そこで、まずは誰でも容易に入手できる古地図を探すことにした。

数あるソフトの中で、①無料で、②拡大に耐えられ、③現代の地図上に表示できる、という3条件を満たせたのが、Google（グーグル）社が無料配布しているバーチャル地球儀ソフト「Google Earth（グーグルアース）」である。このソフトのレイヤのひとつに「ラムゼイ歴史地図（David Rumsey Historical Map Collection）」があり、これを使えば、アメリカの古地図収集家デビッド・ラムゼイ氏のコレクションの一部を、現代の地図上に簡単に表示することができる。2017年（平成29年）1月現在、大阪の古地図で利用可能なのは『増脩改正攝州大阪地図』のみである。1806年（文化3年）に出版されたこの地図は、北は中津川（新淀川）から南は四天王寺まで、東は平野川から西は安治川口までの範囲をカバーしている。

3. 地誌『改正増補難波丸綱目』による井戸、池の確認

この『増脩改正攝州大阪地図』を使って「水」巡りをするには、同時代の「水」のリストが必要である。最も近い時期の地誌として1801年（享和元年）出版の『改正増補難波丸綱目』があり、その「井水池」の項目には、現在の大阪市内を中心に、当時存在した33箇所の井戸や池が列記されている。この中から『増脩改正攝州大阪地図』の範囲内にある28箇所を抽出した。そのうち、大阪城玉造口東にあったとされる「千野井」だけは、今回の研究では、残念ながら、当該地図はもちろんのこと、他の文献でもその存在を確認することはできなかった。

4. 『水都大阪“名水”めぐり』の醍醐味は“想像”

最後に、実際に探訪することを想定して、対象となる27箇所の現状調査を行った。当時のまま残存していることは稀で、むしろ痕跡すら留めない「水」が多かった。ただ、今回は“想像”も楽しみのうちである。結果は別表・別図にまとめてあるので、それらを参照しながら「水」の位置を探し、かつては大阪にも多くの井戸や池が存在していたことを是非実感していただきたい。それこそが、今回提案する『水都大阪“名水”めぐり』の醍醐味である。

◆参考文献等

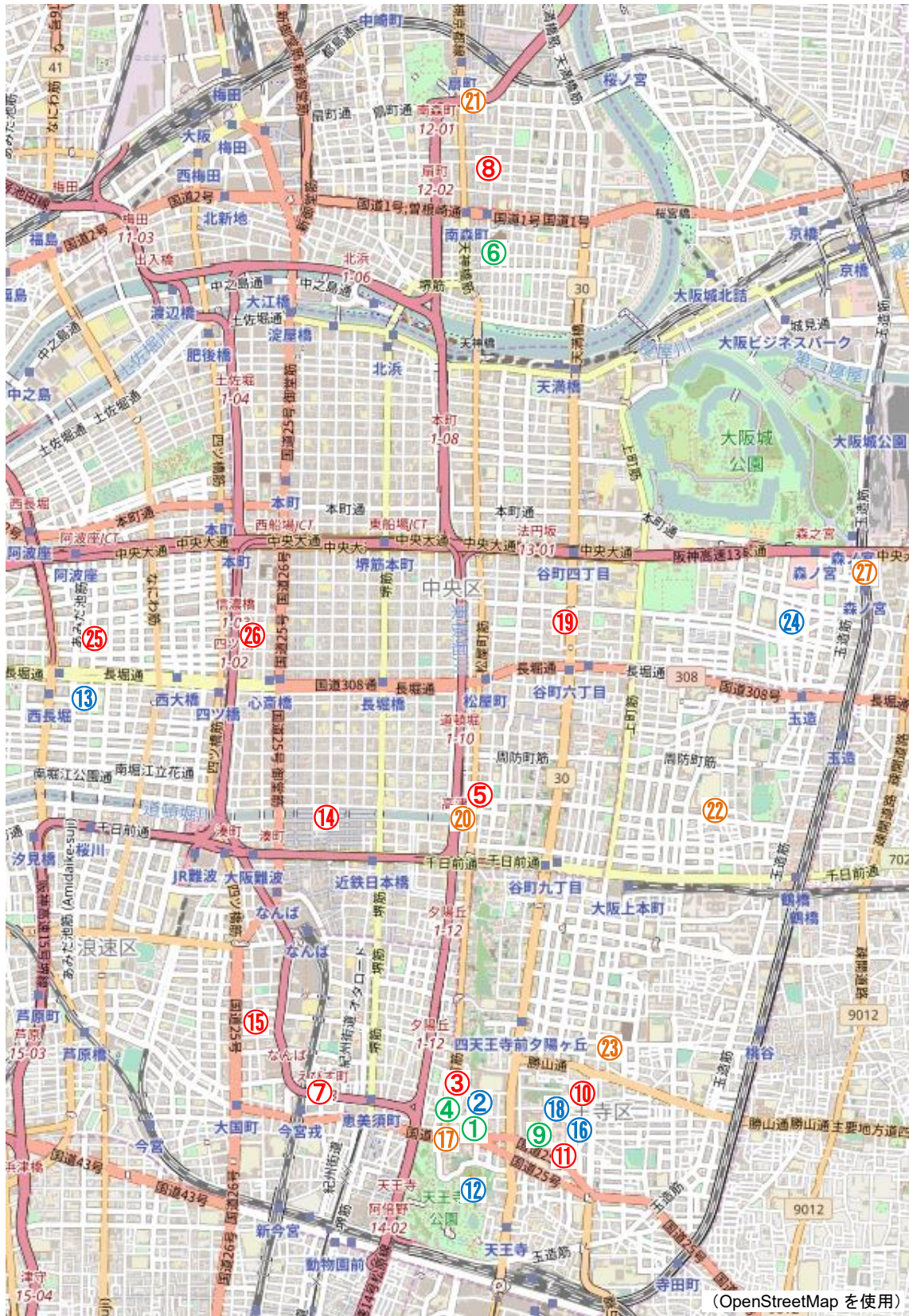
Google Inc. 開発 (2016) 「Google Earth」、岡田玉山写図・大岡尚賢訂正 (1806) 『増脩改正攝州大阪地図』赤松九兵衛 (早稲田大学図書館)、志田垣与助撰 (1801) 『改正増補難波丸綱目』河内屋太助 (早稲田大学図書館)、秋里籬寫著述・竹原春朝齋図画 (1796~1798) 『撰津名所図会 (正・続篇)』積玉圃 (早稲田大学図書館)、岡田倭志 (1698) 『撰陽群談卷第十二』文典堂 (早稲田大学図書館)、林氏吉永 (1696) 『新撰増補大坂大繪圖』(国立国会図書館)、森修編 (1980) 『日本名所風俗図会 10 大阪の巻』角川書店、平凡社地方資料センター編 (1986) 『日本歴史地名大系第二八巻 大阪府の地名』平凡社、竹内理三編 (1991) 『角川日本地名大辞典 27 大阪』角川書店、日本随筆大成編輯部編 (1976) 『日本随筆大成 新装版<第三期>2』吉川好文館、柳原書店 (1976) 『撰津名所図会大成 (其之一・其之二)』、棚橋利光編 (1993) 『成文堂史料叢書 第66刊 四天王寺史料』清文堂出版、福山琢磨編 (2009) 「大阪春秋 (季刊) 第37巻第2号通巻135号」新風書房、昭文社 (2015) 『街の達人 大阪便利情報地図』

別表「水都大阪“名水”一覧」

地図番号	『改正増補難波丸綱目二』 翻刻文		『増脩改正攝 州大阪地図』	状 況		
	名称	所在	表記	名称	所在地	備考
1	安居清水	安井天神社内	「安居天神」の記載あり	やすい しみず ○安井の清水	天王寺区逢阪 1-3	安井神社境内
2	清水供水	清水寺内	「清水寺」の記載あり	たまで たき ◎玉出の滝	天王寺区伶人町 5	清水寺境内
3	観音清水	同 坂ノ下	清水	ありす しみず ×有栖の清水	天王寺区下寺町 2-4	清水坂下
4	増井	同 北	増井	ますい しみず ○増井の清水	天王寺区伶人町 5	増井弁財天境内
5	清泉	南瓦屋丁	付近に「寺島」の記載あり	てらしま しみず ×寺島の清水	中央区瓦屋町 2-10	第三天偉ビル付近 別名：高津清水
-		林寺村	<範囲外>		生野区	
6	清水	天神社内	「天神」の記載あり	てんまてんじん みず ○天満天神の水	北区天神橋 2-1	大阪天満宮境内
-	忘れ水	住吉神社南	<範囲外>	わす みず 忘れ水	住吉区	
7	星が池	今宮裏	名称記載なし (「夷宮」北)	ほし いけ ×星ヶ池	浪速区日本橋西 2-8	今宮戎神社北
8	明星が池	天満東寺丁	明星池	みょうじょういけ ×明星池	北区天神橋 3-1	レジオン南森町付近
9	荒陵池	天のうじ	「四天王寺」の記載あり	せいらゆういけ ○青龍池	天王寺区四天王寺 1-11	四天王寺龍の井戸
10	こまが池	同	「四天王寺」の記載あり	こま いけ ×駒ヶ池	天王寺区四天王寺 1-11	四天王寺本坊庭園瑠璃光の池付近
11	万代池		万代池	ばんだい いけ ×万代の池	天王寺区四天王寺 1-11	四天王寺南門前
12	こそくの池		名称記載なし (「茶臼山」南)	かわぞこいけ ◎河底池	天王寺区茶臼山町 1	天王寺公園内
13	阿みだ池	ほりへ和光寺	阿弥陀池	あみだいけ ◎阿弥陀池	西区北堀江 3-7	和光寺境内
14	秋田屋井戸	道とんぼり	「吉左衛門町」付近	あきたや みず ×秋田屋の水	中央区道頓堀 1-6	ツルハドラッグ付近
15	柳ノ清水	なんば村	柳清水	なんば しみず ×難波の清水	浪速区難波中 3-18	難波年金事務所北西
16	関伽井	天のうじ	「四天王寺」の記載あり	あかい ◎関伽井	天王寺区四天王寺 1-11	四天王寺亀井堂前
17	相坂井	三水	逢坂水	おうさか しみず △逢坂の清水	天王寺区逢阪 1-3	一心寺北(四天王寺地藏山に井戸枠を移設)
18	亀井		「四天王寺」の記載あり	かめい みず ◎亀井の水	天王寺区四天王寺 1-11	四天王寺亀井堂内
-	千野井	玉造口東	—	<不明>	—	—
19	あたご井	内久ほうじ丁	愛宕井	じゅらくまちあたご みず ×聚楽町愛宕の水	中央区谷町 5-6	メル・シアター付近
20	ニツ井戸	道とんぼり東	ニツ井	ふた いど △ニツ井戸	中央区瓦屋町 3-10	国立文楽劇場前に碑
-	庭井	庭井村	<範囲外>	にわい いずみ 庭井の泉	住吉区	
21	女夫池	天満女夫丁	女夫池	めおといけ △女夫池	北区天神橋 4-6	夫婦橋跡東
22	あし原池	てんのうじ	古味原池	あじはら いけ △味原の池	天王寺区餌差町 10 (弥栄神社)	弥栄神社に味原町碑
-	住江ノ池	住よし社前	<範囲外>	かみいけ 神池	住吉区	
23	びしやもん池	天のうじ	毘沙門池	びしやもんいけ △毘沙門池	天王寺区真法院町 20 (天王寺区役所)	天王寺区役所と五條宮に記念碑
24	白龍池	玉造稲荷社	「稲荷」の記載あり	はくりゅういけ ◎白龍池	中央区玉造 2-3	玉造稲荷神社境内
25	四ツ辻井戸	山もと丁	「山本町」に井戸記号あり	やまもとちよう ×山本町	西区新町 3-9	ジオ新町南西
26		はつせ丁	「初せ丁」に井戸記号あり	はつせちよう ×初瀬町	中央区南船場 4-8	オーガニックビル北西
-	昆湯池	こやむら	<範囲外>	こやいけ 昆陽池	伊丹市	
27	亀井	玉造もりの宮	カメ井	かめいずい △亀井水	中央区森ノ宮中央 1-1	JR森ノ宮駅改札付近 (鶴森宮に碑)

【凡例】 ◎：ほぼ残存、○：現地に遺物ありまたは復活、△：碑や移設された遺物等あり、×：痕跡なし

別図「水都大阪“名水”分布」



- | | | | | |
|---------|--------|--------|----------|--------|
| ①安井の清水 | ②玉出の滝 | ③有栖の清水 | ④増井の清水 | ⑤寺島の清水 |
| ⑥天満天神の水 | ⑦星ヶ池 | ⑧明星池 | ⑨青龍池 | ⑩駒ヶ池 |
| ⑪万代の池 | ⑫河底池 | ⑬阿弥陀池 | ⑭秋田屋の水 | ⑮難波の清水 |
| ⑯關伽井 | ⑰逢坂の清水 | ⑱亀井の水 | ⑲聚楽町愛宕の水 | ⑳二ツ井戸 |
| ㉑女夫池 | ㉒味原の池 | ㉓毘沙門池 | ㉔白龍池 | ㉕山本町 |
| ㉖初瀬町 | ㉗亀井水 | | | |